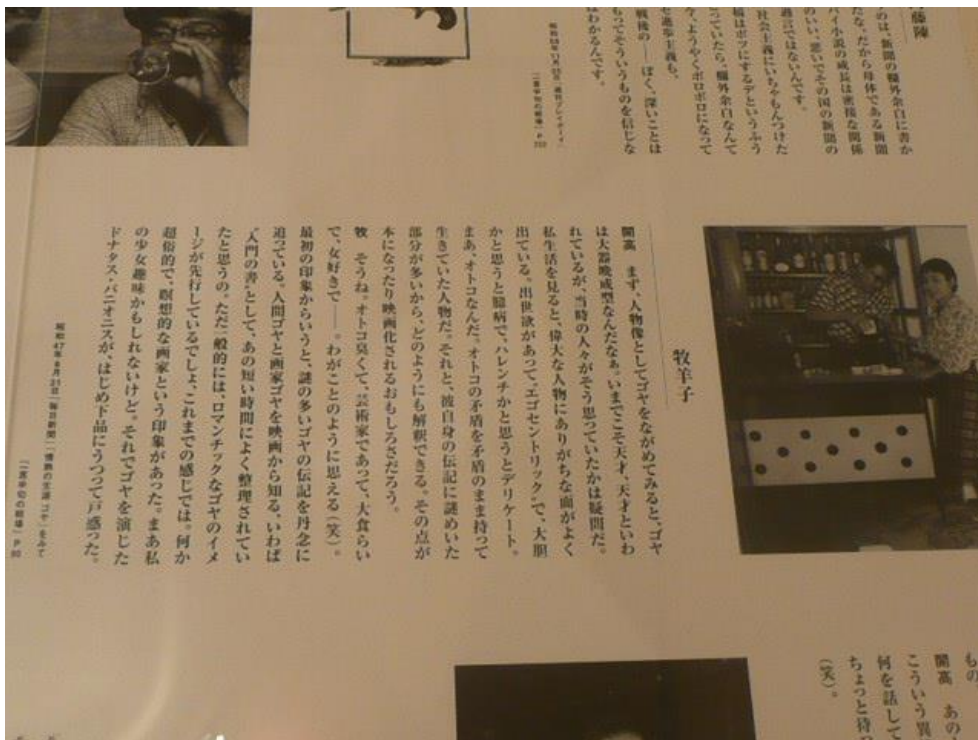
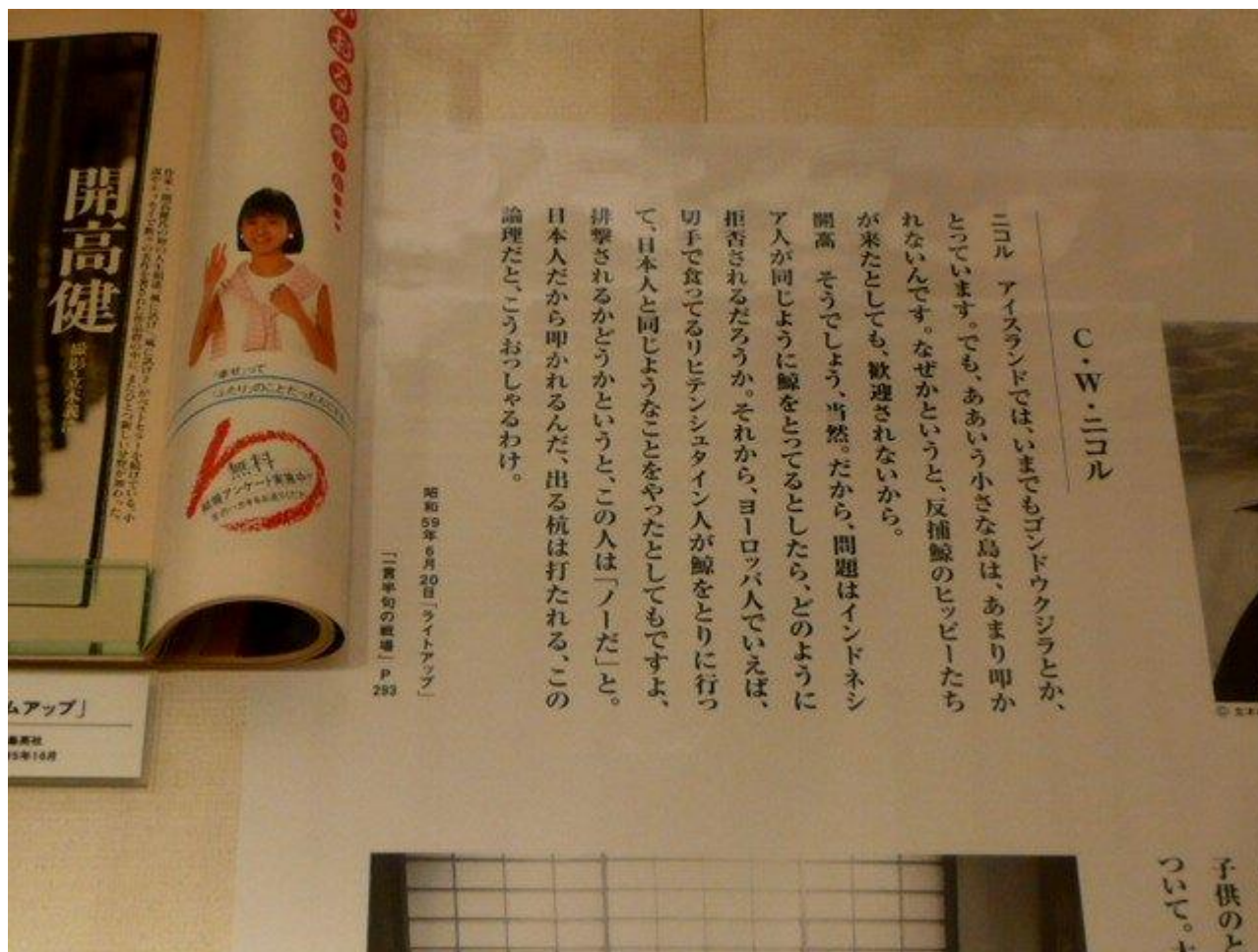


様々な人と交流があった。
牧羊子さんは、奥さんでもある。



ニコルさんは、そう黒姫に住んでいるあのイギリス人の作家だ。彼は大層開高 健を気に入っているらしい。



交友の広さと活動の幅を示す写真である。

井伏鱒二、佐治敬三、谷沢永一、小松左京、向井敏、山口瞳、小田実、秋元啓一、菊谷匡祐、柳原良平、C・W・ニコル 等々。



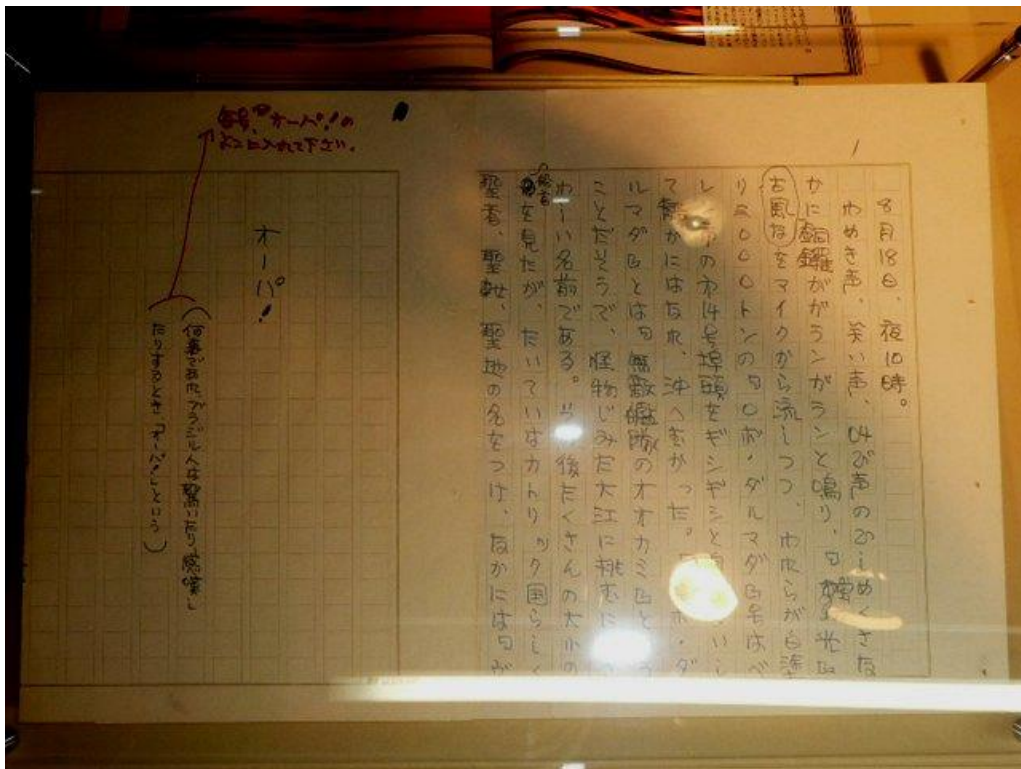
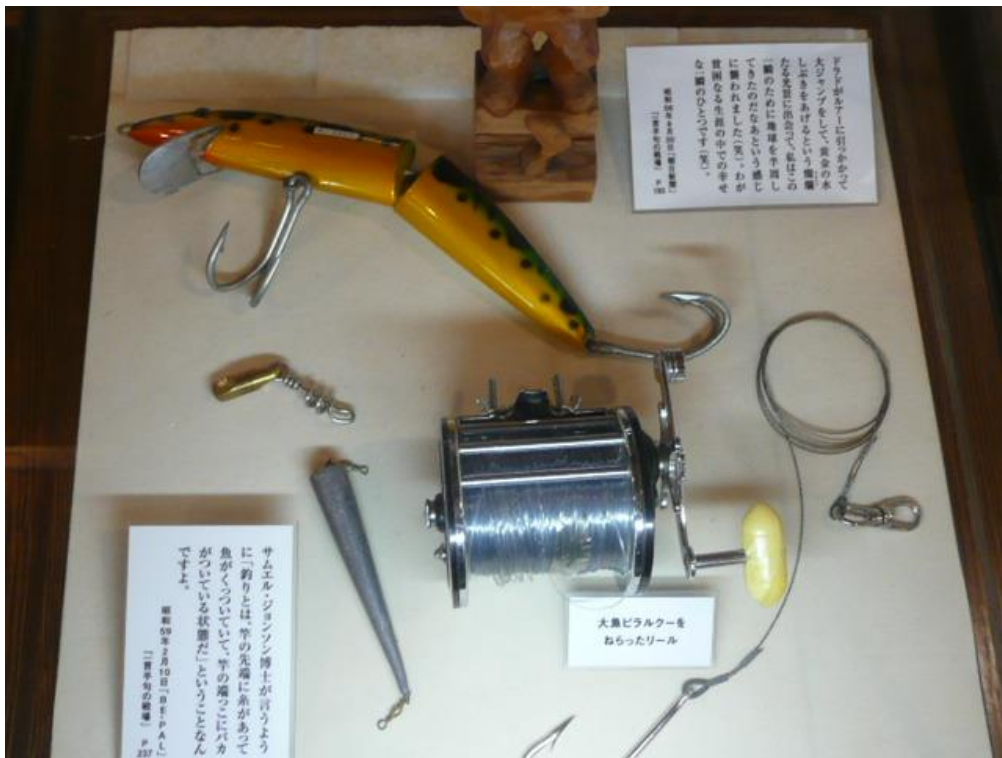
服装もなかなか凝っておられた。寿屋（suntory）を辞めて以来、ネクタイは葬式以外締めたことがないそうだが、TPOが決まっている。



「風に訊け」は、今日ここで購入した。僅かばかりだが、館内の入り口の所で売っているのだ。入場料代わりとして買った。これがまた面白い、茅ヶ崎から湘南新宿ライン特別快速に乗れば池袋まで1時間で着いてしまうが、その間にパラパラと読めるのである。



釣りや狩に関しても相当なもので、巨大な魚拓や剥製が置かれている。何回もTVや本でその偉業を見聞きしたものだ。



これが幸せの極みなんだろうか？